

2017年3月期 第1四半期 決算会見資料

2016年7月29日

NECネットエスアイ

(銘柄略称：NESIC 証券コード：1973)

通信事業者の投資抑制の影響や、 消防・防災システム事業の減少により減収減益

(単位：億円)

	16年3月期 1Q	17年3月期 1Q	前年同期 差/比
受 注 高	705	608	△14%
売 上 高	570	526	△8%
営 業 損 益 (営業利益率)	8 (1.3%)	△ 5 —	△12 —
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 損 益 (四半期純利益率)	4 (0.6%)	△ 5 —	△9 —
フリー・キャッシュ・フロー	177	180	+3

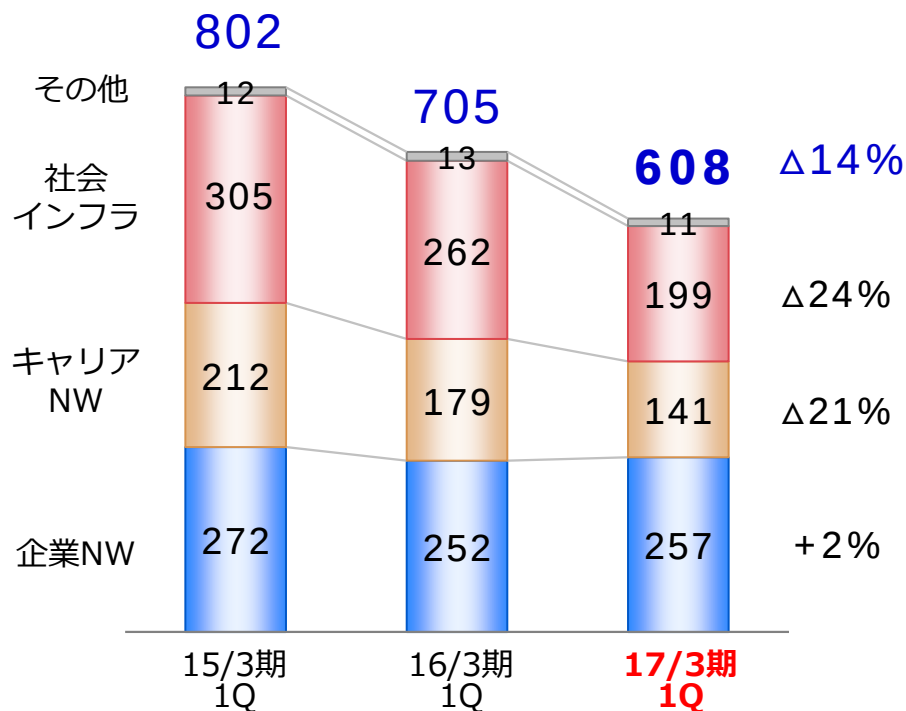
2017年3月期 1Q セグメント別受注高／売上高

■ 受注高：通信事業者の投資抑制の影響(△30)、消防・防災システム事業の減少(△30)に加え、社会インフラにおける2Q以降への期ずれの影響(△30)などにより前年同期比減少

■ 売上高：通信事業者の投資抑制の影響(△30)、消防・防災システム事業の減少(△20)により前年同期比減少

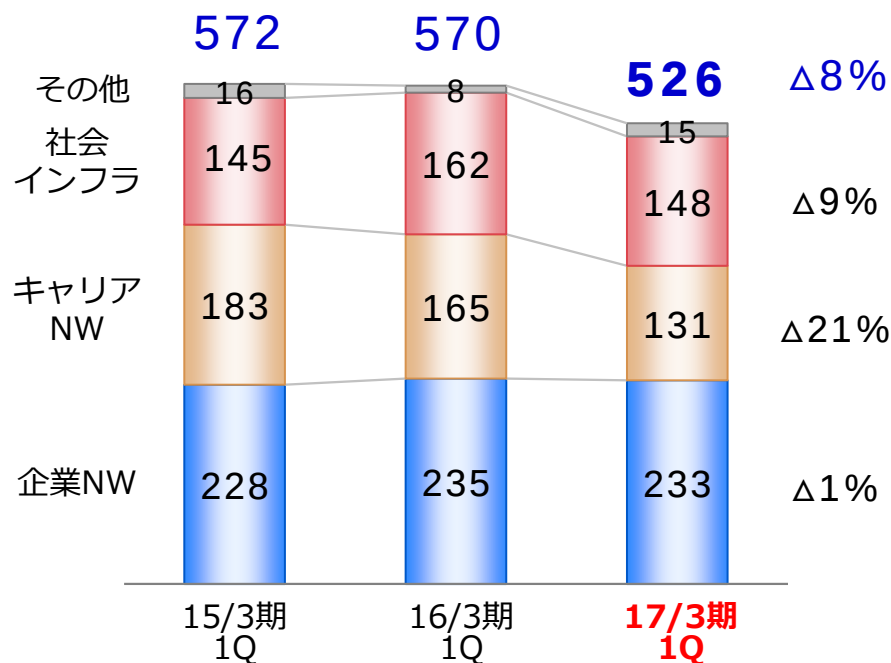
受注高

(単位：億円)



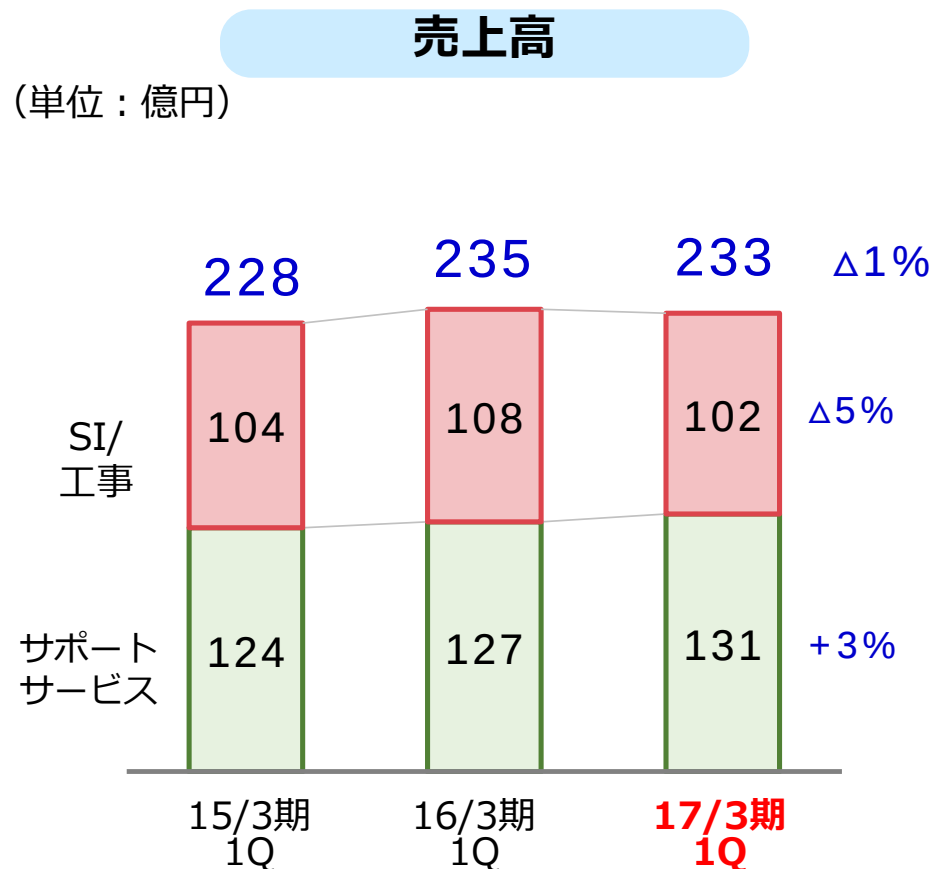
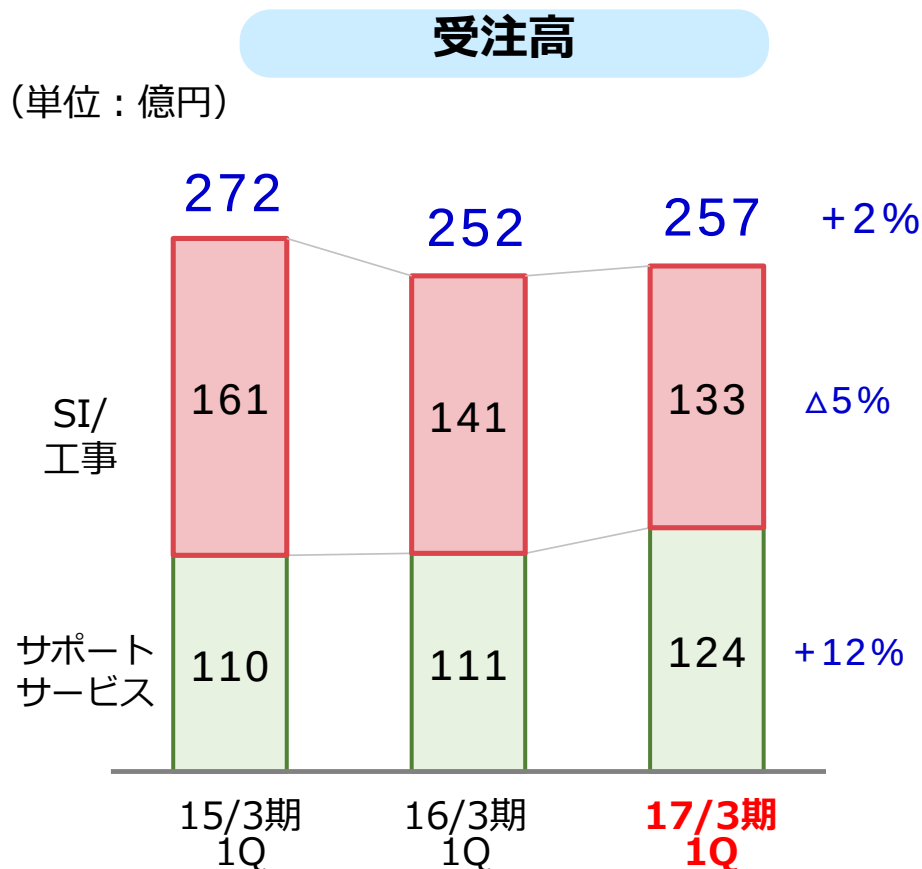
売上高

(単位：億円)

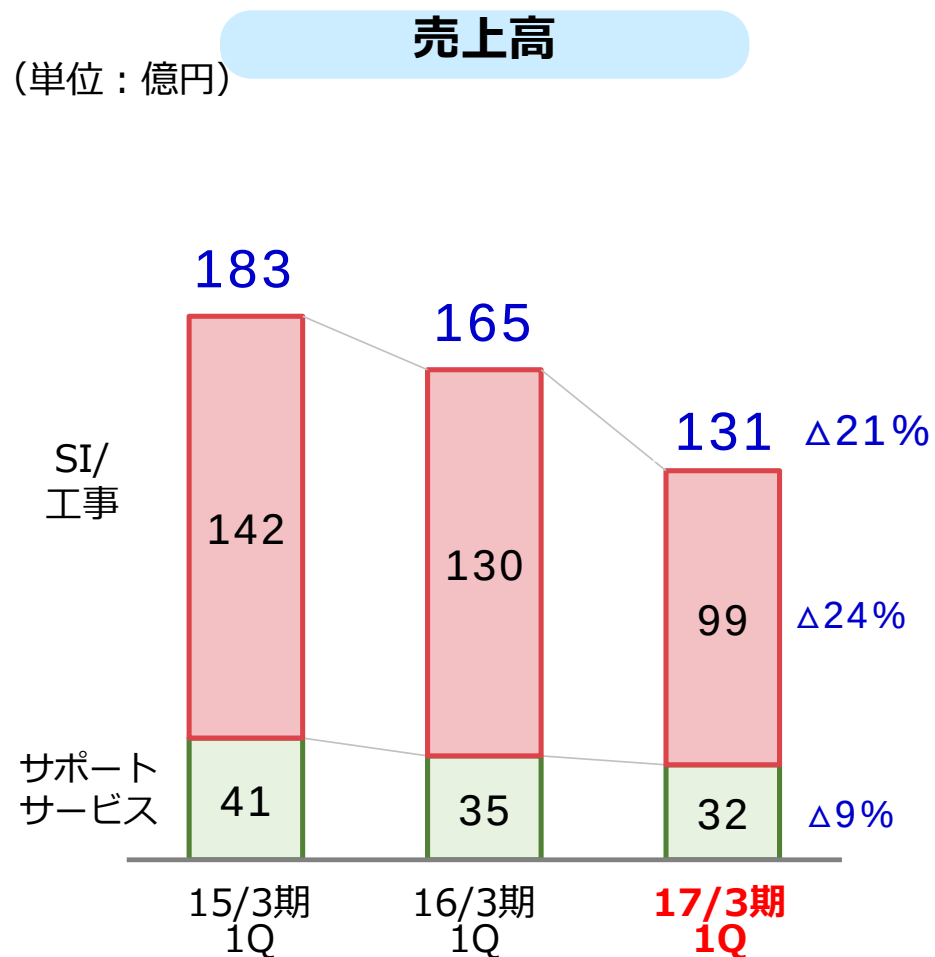
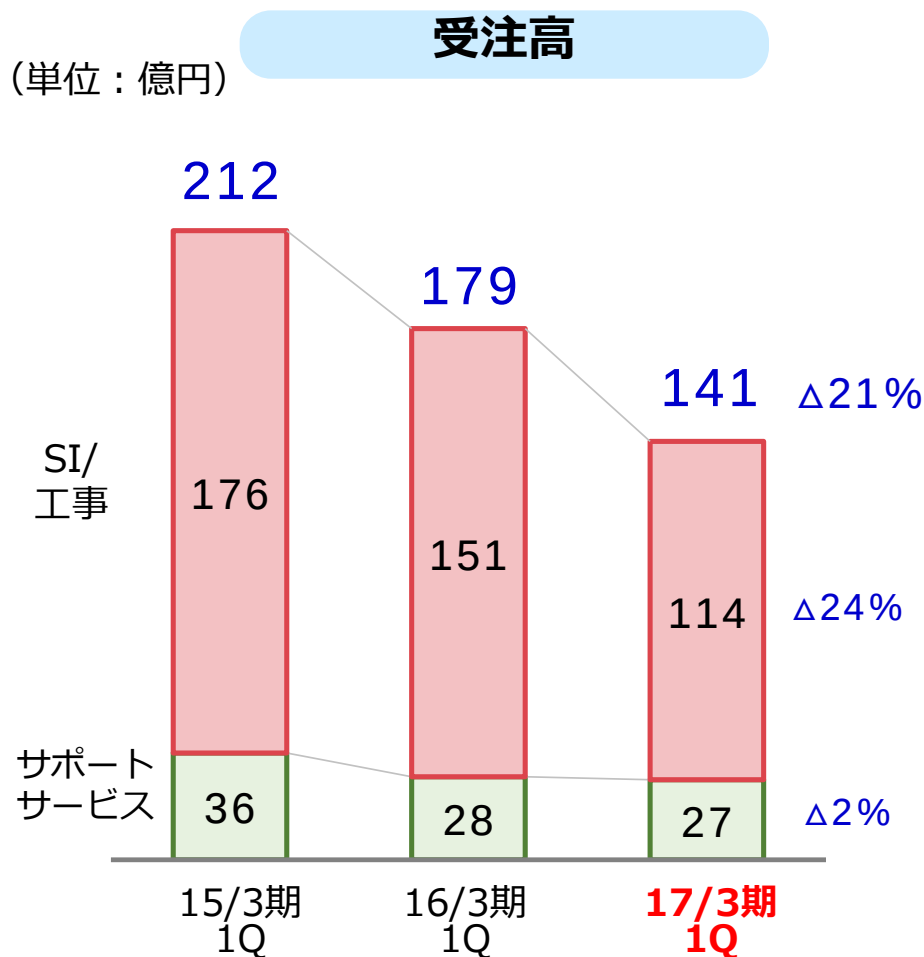


働き方改革分野のICT投資は堅調も、案件の2Q偏重により、受注/売上高は前年同期比横ばい

- サービス型事業は、受注高/売上高ともに着実に増加

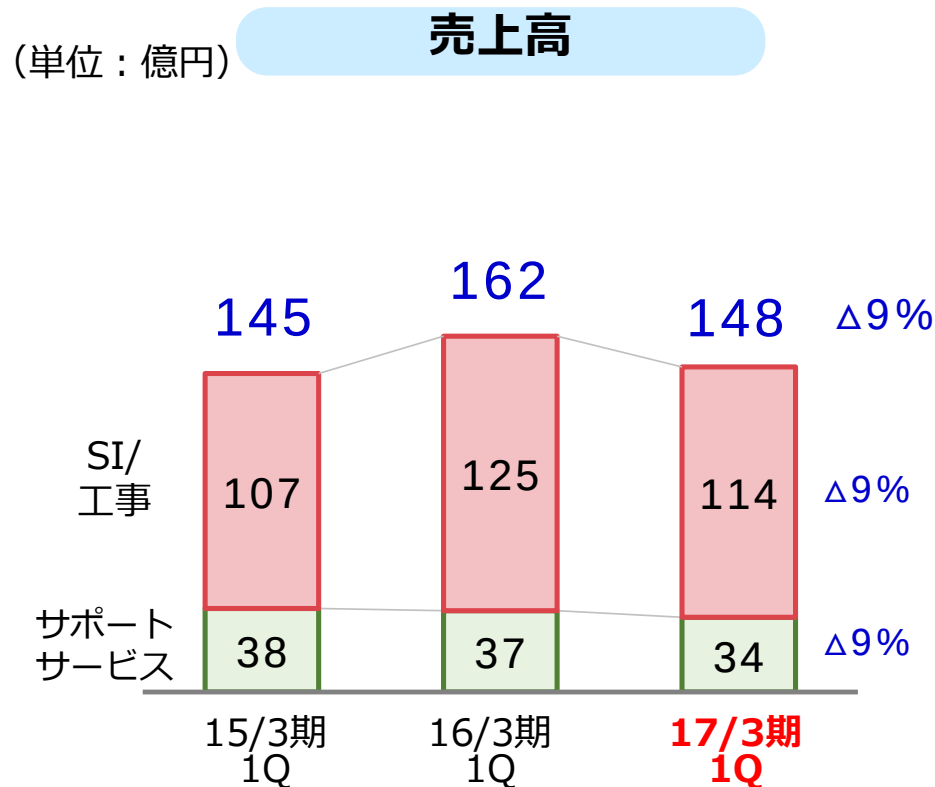
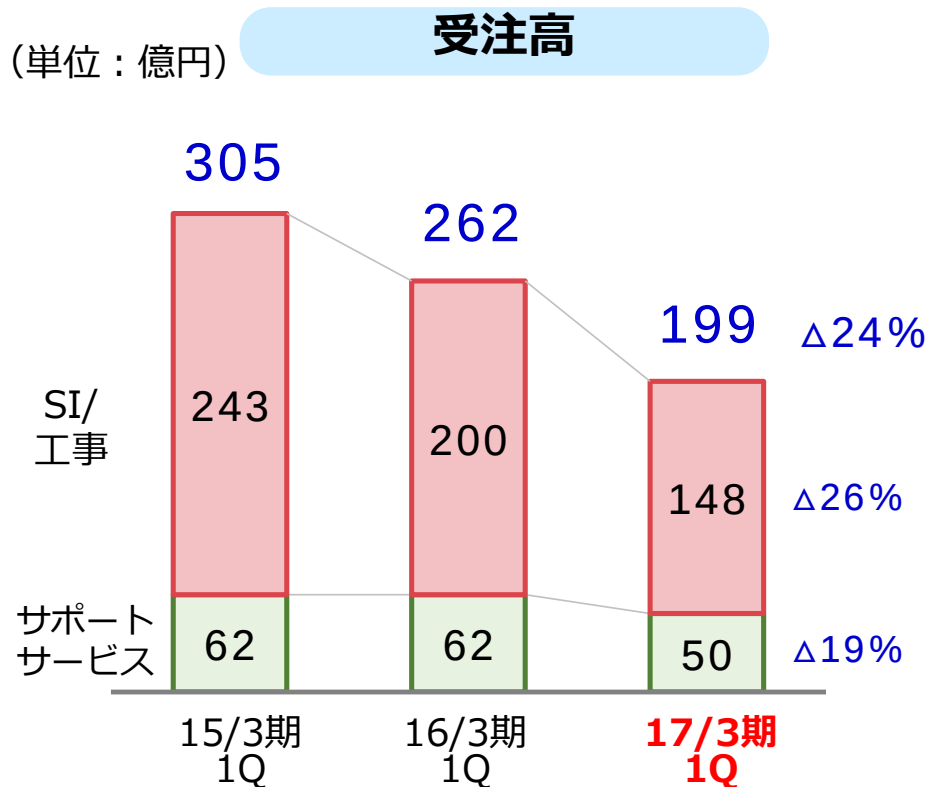


■ 受注高・売上高ともに、通信事業者の投資抑制の影響を受け、前年同期比減少



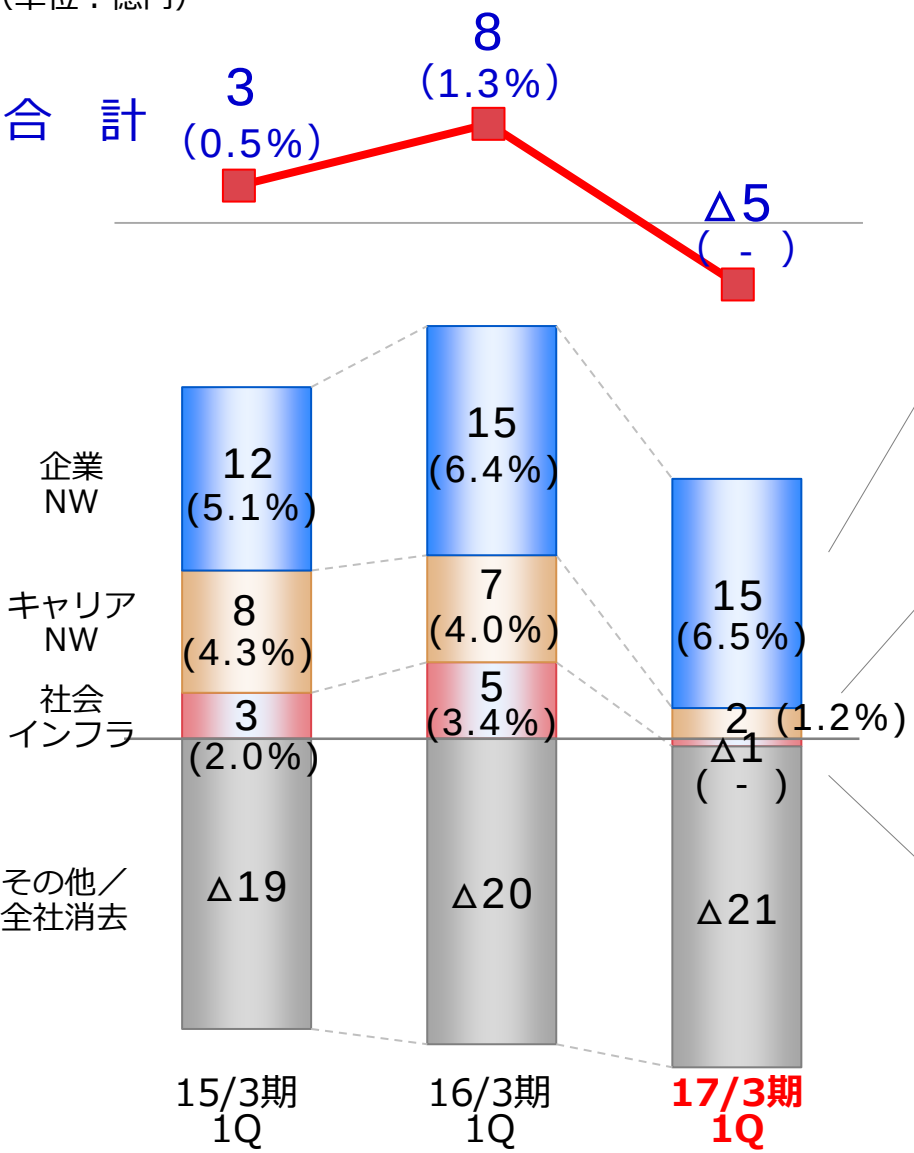
売上高は、海外事業が拡大も消防救急無線デジタル化プロジェクトの終了に伴い前年同期比減少

- 受注高の減少は、消防・防災システム事業の減少($\Delta 30$)や2Q以降への期ずれ($\Delta 30$)の影響



2017年3月期 1Q セグメント別営業損益

(単位：億円)



売上減により減益

- 企業ネットワーク
 - ・ 売上微減も原価率改善により横ばい
- キャリアネットワーク
 - ・ 売上減により減益
 - ・ コスト構造改革効果により原価率改善
- 社会インフラ
 - ・ 売上減により減益
 - ・ 低採算案件の一時的な影響により原価率悪下

※()は、営業利益率

フリー・キャッシュ・フローは大幅プラスを確保

(単位：億円)

	16年3月期 1Q	17年3月期 1Q
営業活動によるキャッシュフロー（A）	186	185
投資活動によるキャッシュフロー（B）	△ 9	△ 6
フリー・キャッシュ・フロー（A + B）	177	180
財務活動によるキャッシュフロー	△ 4	△ 15
現金および現金同等物期末残高	561	603

■ 期初予想から変更なし

(単位：億円)

	16年3月期 実績	17年3月期 予想	前期差/比
受 注 高	2,749	2,800	+2%
売 上 高	2,800	2,700	△4%
営 業 利 益 (営業利益率)	141 (5.0%)	135 (5.0%)	△6 0.0pt
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 (当期純利益率)	60 (2.1%)	80 (3.0%)	+20 +0.9pt

(予想値は2016年7月29日現在のものです)

(参考) 2017年3月期 1Q(16年6月末) バランスシート

(単位：億円)

			16年3月末	16年6月末	増 減
		現金及び現金同等物	439	603	165
		受取手形及び売掛金	1,048	660	△388
		たな卸資産	92	114	22
		その他流動資産	97	115	18
	流動資産合計		1,676	1,492	△184
	固定資産合計		289	284	△5
	資産合計		1,966	1,776	△190
		支払手形及び買掛金	392	249	△143
		借入金	85	87	2
		その他負債	545	518	△27
	負債合計		1,022	854	△168
		株主資本合計	971	948	△23
		その他の包括利益累計額	△44	△43	1
		非支配株主持分	17	17	1
	純資産合計		944	923	△21
	負債純資産合計		1,966	1,776	△190
	自己資本比率		47.2%	51.0%	+ 3.8pt

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないために、リスクや不確定要因を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などであります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

当社グループでは、2015年2月/4月にグループ経営の効率化を図るため、国内子会社の再編を行いました。これを受け、16/3期より、従来「その他」セグメントに含まれていたネッツエスアイ東洋(2015年4月、NECマグナスコミュニケーションズに吸収合併され解散)を「キャリアネットワーク」セグメントに含める等の報告セグメントの内容変更を行いました。本資料中の15/3期のセグメント数値は、これに合わせた組替え値で表示しております。



明日のコミュニケーションをデザインする

NECネットエスアイは、お客様の目線に立った
これからのコミュニケーションをデザインする会社
としてお客様の価値向上に取り組んでまいります。

nesic

検索

\Orchestrating a brighter world

NEC

NECネットエスアイ

www.nesic.co.jp